

ユニセフ (UNICEF : 国際連合児童基金 United Nations Children's Fund) は、世界の子どもたちの命と健康を守るために活動する国連機関です。1946年に創設されました。すべての子どもたちが笑顔で暮らせる世界の実現を目指して、190以上の国と地域で教育、保健、水と衛生、保護、緊急救援、アドボカシー（政策提言）などの支援事業を行っています。

<<http://www.unicef.or.jp/> 公益財団法人日本ユニセフ協会>

1. 子どもの命と成長、そして未来を守る・・・主に予防可能な原因で命を失う5歳未満の子ども、年間590万人
2. すべての子どもに教育を・・・・・・・・・・初等教育さえ受けられない子ども、5,700万人
3. エイズと闘う・・・・・・・・・・エイズで親を亡くした子ども、1,330万人
4. 暴力、搾取、虐待から子どもを守る・・・厳しい労働に苦しむ子ども、1億6,800万人
5. 子どもの権利を実現するための政策の実現やパートナーシップの構築・・・各国政府への働きかけを行います



JICA (独立行政法人国際協力機構 : Japan International Cooperation Agency) は、日本の政府開発援助 (ODA) を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。主な目的は、①開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与 ②異文化社会における相互理解の深化と共生 ③ボランティア経験の社会還元。なかでも、青年海外協力隊は事業発足から50年以上という長い歴史を持ち、これまでに延べ4万人を超える隊員が活動しました。応募できるのは20～39歳 (青年)、40～69歳 (シニア) の日本国籍を持つ人。活動分野は農林水産、保健衛生、教育文化、スポーツ、計画・行政など多岐にわたります。自分の持っている知識、技術、経験などが生かせるのが JICA ボランティアの特徴です。派遣期間は原則2年間ですが、1ヶ月から参加できる短期ボランティア制度もあります。詳しくはホームページをごらんください。 <https://www.jica.go.jp>

菅野芳春さん プロフィール <http://watamamasmile.org> 一般社団法人ワタマスマイル
山形県尾花沢市生まれ、地元の工業高校から山形大学工学部に進学。静岡県の大手精密機器メーカーで20年間エンジニアとして勤務し、分析・計測装置の開発や設計、数々の商品開発プロジェクトに従事し、プロジェクトマネージャーを務めた。「日本では、貧しくてもなんとかがんばれば、夢が実現できる道がある。しかし、世界にはどんなに頑張っても夢が実現できないばかりか、夢を描くことができない子どもたちがたくさんいる。いつかはそんな子どもたちのために何か役に立ちたい。」青年海外協力隊最終年齢の39歳でガーナに赴く。帰国後、国際NGO「ガーナ支援交流協会」を設立し、ガーナ支援を始める。東日本大震災後は石巻市に移り住み、現在に至る。2014年賀川豊彦賞を受賞。

お申し込みはファックス・電話・メールにてお願いします。
定員になり次第締め切ります。
お申し込みの受付後に、「参加券」をお送りいたしますので、当日会場にお持ちください。
◆E-mail アドレス : sn.municef_miyagi@todock.jp
◆電話 : 022-218-5358 (宮城県ユニセフ協会)
080-5849-6072 (五十嵐)

開催会場は.....
日立システムズホール仙台 エッグホール (3F)
(仙台市青年文化センター)
仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel 022-276-2110
地下鉄南北線「旭ヶ丘駅」東1番出口より徒歩3分
◇◆◇ 公共交通機関でおいでください ◇◆◇

宮城県ユニセフ協会 宛て FAX 022-218-3663

6/24 国際理解講座「ガーナ協力隊活動と東日本大震災」 参加申し込み

お名前 _____ 参加人数 _____ 名

ご住所 〒 _____

電話 _____ 切り離さずこのままファックス送信してください

ご記入の情報は「ユニセフ国際理解講座」参加者把握のために使用します